



# ペット用 支援カード



ケガや病気などで、入院しなければならなくなった場合などの“いざという時”に備え、飼い主もペットも安心できるように、対処方法を考えておきましょう。

また、突然の入院等により、飼い主自身が預けられなかったときに、その対応をご家族などに委ねられるよう、この用紙に記入して、「支援カード」といっしょに筒に入れて保管しておきましょう。

【希望欄】 いざというときにしてもらいたいこと

《どこに・誰に（親族・ペットホテル・動物病院・友人等）》

《受け渡し先の住所・連絡先》

《どのように（受け渡し方法・料金の支払い方法等）》

《その他（呼び名・好き嫌い・性格など）》

## 大切なペットを守るために・・・

### 1. ペットホテル等に預ける場合は、下調べは欠かせません

- ① 料金がいくらかかるか
- ② ワクチン接種済などの利用条件
- ③ 預ける際に必要な物（ワクチン接種コピー・身分証明書コピー・フードなど）

### 2. 必要なお金を確保しておきましょう

一定期間ペットを預ける場合などに、ペットホテル代、フード代、治療費、日用品代等のお金がかかります。いざというときの対処方法を考えておいても、お金が無くて利用できないということにならないよう、準備しておきましょう。

### 3. 預け先の選択肢を複数確保しておきましょう

飼い主と親しく、ペットもよくなついている預け先があれば安心です。身近な人に、飼っているペットのことをよく知ってもらえるように、普段からコミュニケーションを大切にし、いざというときに世話や預かりをお願いできる関係を築いておきましょう。

### 4. 災害への備えは、飼い主もペットも守ります

東日本大震災では、避難先でのペットの飼育が大きな課題となりました。

- ・ ペット用避難用品や備蓄品の準備
- ・ 避難所の場所や避難ルートの確認
- ・ ペットの十分なしつけと健康管理
- ・ 家族や周囲の人たちとの災害に備えた話し合い

など、突然起こる災害に備え、日ごろからの準備と心構えが大切です。

#### 【保健所等で引き取った場合・・・】

飼い主の不測の事態によって、ペットを飼い続けることができなくなり、行政が保護した場合、その後、譲渡先などが見つからない場合は、最終的に殺処分となります。

しかし、東京都では、動物保護団体等と連携して「殺処分ゼロ」に向けた取り組みを進め、平成30年度時点で、犬・猫の殺処分数ゼロを達成しています。